

令和2年度「第3次ふくいの食育・地産地消推進計画」関係施策実施状況

項目	関連事業	内容・実績	担当課	
【食育】				
子ども・保護者・祖父母等、三世代が共に学ぶ食育の推進	○三世代が命の大切さ等を共に学び交流する、食に関する体験の推進			
	・子どもと保護者・祖父母を対象に食育講座開催 ・一汁三菜、共食の推進、命の大切さを伝える	ふくいの「食」の未来を支える食育・地産地消推進事業	・各種団体に食育講座を開催(ふくいの食育リーダー派遣) 23件 ・YouTube「ふくいのうち食育」動画 13本配信	流通販売課
	○乳幼児がいる保護者に対する、地場産食材を用いた離乳食やおやつ等の推進			
	・乳幼児定期健診で保護者への共食の推進、一汁三菜献立の推進、地場産食材を利用した離乳食・おやつ等の推進、むし歯予防	ふくいの「食」の未来を支える食育・地産地消推進事業	・各種団体に食育講座を開催(ふくいの食育リーダー派遣) 23件	流通販売課
		マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト事業	・妊産婦無料歯科健診の実施により、母親の口腔内の衛生状態を保ち、乳幼児のむし歯の罹患を予防	健康政策課
	・未就学児施設において、4、5歳児を対象に教室を実施し、むし歯の罹患率を減少		・未就学児施設の4、5歳児を対象にフッ化物洗口または親子歯みがき教室を実施	
	・食生活改善推進員を対象に、若い女性のやせ、乳幼児への食育等母子栄養に関する講習会実施	母子栄養強化活動事業	・食生活改善推進員を対象に、母子栄養強化に関する専門的な知識と技術を普及するための講習会を実施 :R2テーマ「栄養成分表示の見方や活用方法」、10回	健康政策課
	○遊びながら食を学べる体験の場の設置			
	・体験の場をエンゼルランドふくい、こども家族館に作り食育推進	福井の「食」の未来を支える食育推進事業(核となる「食育」の場づくり)	・エンゼルランドふくい、こども家族館で食育イベントを開催(2、3月) ※新型コロナウイルス感染拡大により中止	流通販売課
	○高齢者の健康に配慮した食事モデルメニューの普及推進			
	・高齢者の低栄養やフレイル(虚弱)対策としてたんぱく質やビタミン、ミネラル等を強化した「ふくい健幸美食」→「ふくい100彩(さい)ごはん」を推進	健康長寿食「ふくい100彩ごはん」開発・伝承事業	・飲食店やスーパー、直売所、社員食堂等が提供する健康に配慮した定食や惣菜等を「ふくい100彩ごはん」として認証・普及:265メニュー(208店舗) ・うち、やせ対策・フレイル予防向けメニュー:70(48店舗) ・配食サービス事業者に対して、高齢者に不可欠な栄養素とそのため有効な食材、減塩の工夫、利用者の身体状態に応じた食形態等について、個別支援を実施(実施数:5施設) ・骨粗しょう症対策として、大豆・大豆製品を使用したレシピを収集:170品	健康政策課
	○「おいしいふくい食べきり運動」の推進			
	・各種団体、飲食店、企業と連携しながら、宴会時、外食時、家庭での食べきりを実践する取り組みを展開 ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」において運動展開	「おいしいふくい食べきり運動」実践事業	・食べきり実践手帳を活用した普及啓発を実施 ・おいしいふくい食べきり実践キャンペーンを実施し、外食時の食べきりの実践を促進。 ・全国ネットワーク協議会と「おいしい食べきり運動」の活動に賛同する民間企業と共同宣言を実施。(1社)	循環社会推進課
	○「早寝早起き朝ごはん」運動等を通じた共食の推進			
	・就学時健診の際に実施する講座において、家庭教育アドバイザーにより「早寝早起き朝ごはん」とあわせて共食の習慣づくりについても保護者を対象に推進	家族の教育力向上事業	・新小学1年生の保護者に生活習慣に関するリーフレットの配付(10月)、家庭教育アドバイザーによる「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくり等に関する出前家庭教育講座の実施 ・県PTA連合会の地区別研修会で「食の大切さ」について講演会を実施	義務教育課
	家庭教育支援テレビ放送事業	・「早寝早起き朝ごはん」など朝食や生活習慣の必要性を啓発する番組を放送(1月～3月毎週土曜日10時～10時15分)		
○非常時に役立つ調理方法等の普及				
・水、電気、ガス等のライフラインが停止した状況や、買い物に行けない状況でも、通常家にあるもので食事ができるよう、常温で保存できる食材を活用した非常時に役立つ調理方法等を普及	ふくいの「食」の未来を支える食育・地産地消推進事業	・YouTube「ふくいのうち食育」にて災害時のポリ袋調理を紹介 ・「ふくいの食育推進企業」を対象に、ローリングストックや防災食について紹介	流通販売課	
	母子栄養強化活動事業	・食生活改善推進員を対象に、次世代の健やかな生活習慣の形成に関する専門知識と技術を普及するための講習会を開催 ※R2テーマ:「栄養成分表示の見方や活用方法」	健康政策課	
働く若い世代への食育推進	○県内企業への「ふくいの食育推進企業」登録を通じた食育推進			
	・「ふくいの食育推進企業」登録制度を創設。県内企業の「社員への食育」の取り組みを推進	ふくいの「食」の未来を支える食育・地産地消推進事業	・「ふくいの食育推進企業」:16社登録(計34社)	流通販売課
	・企業内に「食育推進員」を設置し、社員を対象に情報を提供		・食育情報メールマガジン配信(毎月) ・食育リーダーによるセミナー開催 ・食育推進に係る研修会開催	
	・積極的に食育活動を展開する企業を「食育優良企業」として表彰し、HP等を通じて公表		・「食育推進企業」の食育に関する取り組みについて、流通販売課HPに掲載	

	項目	関連事業	内容・実績	担当課
働く若い世代への食育推進	○食生活改善推進員が事業所を訪問し、健康を保つための食を推進			
	・研修を受けた食生活改善推進員が事業所訪問	事業所サポート事業	・食生活改善推進員が事業所訪問を行い、働く世代に対し、減塩や野菜摂取、肥満・やせ予防等の健康に関する正しい知識を普及：年50か所	健康政策課
	・事業所訪問でバランスの取れた食事について普及し生活習慣病の改善につなげる			
	○健康に配慮した定食等のメニューを認証する「ふくい100彩ごはん」の普及推進 (※令和2年度より、「ふくい健幸美食」の名称を「ふくい100彩ごはん」に変更)			
	・「ふくい100彩(さい)ごはん」認証メニューの飲食店等への普及推進、健康に配慮した食事ができる環境づくり	健康長寿食「ふくい100彩ごはん」開発・伝承事業	・飲食店やスーパー、直売所、社員食堂等が提供する健康に配慮した定食や惣菜等を「ふくい100彩ごはん」として認証・普及：265メニュー(208店舗)	健康政策課
	・若い世代のやせ・低栄養対策として不足しがちな栄養素がしっかり摂れるモデルメニューの開発・普及、食品関連事業者への健康教育		・上記のうち、やせ対策・フレイル予防向けメニュー：70(48店舗) ・配食事業者等に対し、健康支援型配食サービスの実践に向けた講習会や個別支援を実施	
	○食と美容の関係など、若い世代の興味に応じた情報の発信			
	・若者が興味を示す切り口から食に関する情報を発信	—	・YouTube「ふくいのおうち食育」動画13本配信	流通販売課
	・「ふくい100彩ごはん」提供店、地場産食材活用ヘルシーメニュー提供店情報のSNS発信			
	○食品関連事業者に向けた適正な食品表示の指導			
・加工食品の栄養成分表示の講習会や指導	栄養成分表示対策事業	・食品表示基準に基づいた適切な栄養成分表示が行われるよう、食品関係事業者に対する指導や試買検査の実施(試買検査：6検体)	健康政策課	
・食品の表示に関する講習会や指導	—	・直売所出荷者に対し、食品表示個別説明・相談を実施(2回、43人)	流通販売課	
農林水産業や食について学び体験する活動の推進	○生産者との交流による農林水産業等体験を支援			
	・生産者との交流による最新の生産現場を学ぶ体験の推進	ふくいの地場産学校給食推進事業	・児童生徒が地域の農林漁業者とともに農林漁業体験(野菜栽培、魚さばき等)を実施 実施校：66校	流通販売課
	・生産者の圃場での収穫体験、郷土食づくり、販売体験等、地域と協力して体験活動を推進	地域と進める体験推進事業	・児童生徒が地域の課題等に取り組む体験学習(地元の特産物の栽培や調理、販売など)を実施 実施校活動費用助成 115校	義務教育課
	・小学生対象の水産業体験により福井の水産物への誇りと愛着を高める	県産農林水産物を食べよう学校給食応援事業	・小中学校の給食に県産水産物を提供するとともに、提供した水産物に関するクリアファイルを作成・配布。	水産課
		ブランド魚の販路拡大・魅力向上事業	・県内の高校生を対象に、ブランド魚の捌き方料理講習会を開催。 ・県内のイベントを活用し、せいこがにの食べ方講習会を開催。	
	・福井県オリジナルきのこの栽培・収穫体験等により県産きのこの理解を深める活動推進	もり人づくり事業	・カンタケ・ウスヒラタケの栽培や原木シイタケ駒打ち体験、きのこ料理教室等を開催(57回、1,351人参加)	森づくり課
	○学校給食と連携した食育の推進			
	・地場産食材に関する体験活動や授業とともに学校給食で味わうことにより、地場産食材や地元農林漁業への理解を深める	ふくいの地場産学校給食推進事業	・県内各小・中・特別支援学校(計261校)において、年1~3回、県ブランド食材をはじめ地場産食材を多用した給食による食育を実施	保健体育課
		ふくいの和食教育推進事業	・学校給食メニューコンテスト ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	保健体育課
	・石塚左玄の訓えを基にした食育教材を活用した食育	栄養教諭等資質向上研修【ふくい子ども食育チャレンジ】	・県独自の食育教材「ふくいこども食育チャレンジ」の改訂版を作成	保健体育課
○高校生への食の自立や食の選択力強化を推進				
・高校生に対して、望ましい食生活を行うための知識の習得・実践活動を推進	ふくいの「食」の未来を支える食育・地産地消推進事業	・特産品を使った一汁三菜等の献立の実習等を実施(4高校)	流通販売課	
・食育に関する知識や技術を競う「全国高校生食育王選手権大会」を開催	「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」開催事業	・WEB予選 延べ345チーム参加 ・11/15決勝大会 10チーム(新型コロナウイルス感染防止のためオンライン形式で開催)	流通販売課	
○スポーツに励む子ども達への、県産米等を活用した食育の推進				
・スポーツに励む小中高生に、スポーツ栄養学に基づいた食事について学ぶ機会を提供	ふくいの「食」の未来を支える食育・地産地消推進事業	・冊子「スポーツをする子ども達を支える 福井のお米・食材集」の配布 ・福井の食材を使ったおにぎりレシピ紹介(HP掲載) ・「ふくいの地産地消スポーツ弁当」推進	流通販売課	
・優れたエネルギー源であるお米を中心とし地場産食材を活用した食事の紹介・食べ方の提案				

項目	関連事業	内容・実績	担当課
【地産地消】			
○消費者の利便性向上のため、大規模農産物直売所を新たに整備			
・大規模直売所を整備	—	・道の駅恐竜溪谷かつやまオープン(6月)	流通販売課
○消費者が求める食卓を彩る野菜や旬の果物などの少量多品目の農産物生産を推進			
・少量多品目生産の生産者に対して、小規模ハウス、機械整備等を支援	・小さな農業チャレンジ応援事業	・個人営農者や女性グループ等が行う、新規作物の導入などの新たなチャレンジに対して支援(45組織) ・少量多品目野菜の栽培(実証圃)を8か所で実施	園芸振興課
・栽培しやすく直売所で売れる品目の作付け推進	ふくいの果樹供給拡大支援事業	・新規果樹品目の実践(実証)を新たに4か所で実施	
・特別栽培農産物、有機JAS農産物の振興	福井県特別栽培農産物支援事業	特別栽培農産物の認証 ・特別栽培農産物…農家数606人 認定面積1,598ha ・有機JAS農産物…農家数 30人 認定面積 88ha	流通販売課
○量販店の地場産コーナー等で買い物がしなくなる売り場づくりや、地場産食材購入ポイント制度の導入推進			
・量販店等での県内統一のぼり等による装飾を推進	「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」開催事業	・福井県産をPRする統一のぼりを配布 スーパー等124店舗、直売所28店舗 計440枚(大・小)配布	流通販売課
・地場産食材利用レシピ、試食の提供等により消費者の購買意欲を促進		・「ふくい 味の週間」キャンペーンにおいて、食品メーカーとタイアップした地産地消レシピの紹介と販売キャンペーンを県内スーパーで展開 ・参加121店舗 ・福井新聞紙面にて地産地消レシピ紹介 ・FBC夕方のTV番組内で地産地消レシピ紹介放送 ・スーパー折込チラシ内でレシピ紹介	
・地場産食材購入ポイントアップ協力店の開拓、地場産食材購入促進キャンペーン等による消費者の購買意欲促進	福井産 選んで！買って！応援事業	・「福井産 食べて当てよう！キャンペーン」実施 福井県産の農林水産物や加工品を購入し県産を示すマークやラベルを3つ集めて応募すると抽選で県の特産品が当たるキャンペーン 実施期間 ①7/23～9/27、②10/2～11/30 参加店舗 スーパー124、直売所28、計152 応募件数 4,702件	
○若い世代に地魚の魅力をもっとPRし、購買意欲の向上と消費拡大を推進			
・若い世代に向けて地魚の魅力をもっとPR	ブランド魚の販路拡大・魅力向上事業	・県産水産物の認知度向上のため、若狭ぐじと越前がれいで、最上級ブランド「極」を創出。 ・県内の食のイベントを活用し、ブランド魚の料理の販売とPRを実施。	水産課
・マハタ種苗の本格出荷・養殖開始に向けて生産者から近隣民宿への出荷体制を構築		・県内の食のイベントを活用し、マハタの料理の販売とPRを実施。 ・マハタ料理を提供する民宿等をHPで紹介。 ・県内の宿泊施設にマハタを紹介。	
○新たな需要が見込まれる「健康食」「介護食」等、地場産食材を使った6次産業化商品の開発を支援			
・在宅高齢者や福祉施設等向けのスマイルケア食の開発支援	6次産業化推進事業	・研修会の開催(10月) ・栄養士会、言語聴覚士会との連携による商品開発推進 ・7事業者が商品開発実施 ・新商品のプレスリリースによるPR	中山間農業・畜産課
・機能性表示食品の開発を支援		・研修会の開催(7月)	
・食品加工業等のニーズのデータベース化、農林漁業者とのマッチング支援		・福井県6次産業化一次加工品展示商談会の開催(11月) (併せて、加工用機械展示会を開催)	
・食品加工業等のニーズに応じた1次加工品の生産技術確立支援		・一次加工品製造にかかる機械等の導入支援(1事業者)	
・市場動向を踏まえた商品開発、販路開拓、機械や設備の整備支援		・アフターコロナを乗り切るマーケティング力向上塾の開催(10～2月 計5回) ・県単事業(ソフト・ハード)による販路拡大、加工機械施設等整備への支援(6事業者)	

項目	関連事業	内容・実績	担当課
○「米、酵母、水」のすべてが福井県産である最高級のふくいオリジナル地酒を商品化			
・蔵元と生産者との意見交換会、蔵元間の醸造技術交流会、試飲会等によりオリジナル地酒の高品質化支援	6次産業化推進事業	・県内17蔵元から「さかほまれ」地酒販売(4月～) ・醸造技術交流会(さかほまれ利き酒等)の開催(10月) ・さかほまれ醸造前研修会(オンライン)の開催(12月)	中山間農業・畜産課
・酒米生産体験イベントや醸造見学ツアー、販売イベントなどの開催		・販売キャンペーンの実施 ・インフルエンサー等を活用したPR ・フェニックスフェス(福井市:9月)、お米産業展(横浜市:10月)での試飲提供によるPR ・雑誌等(月間「fu」、北陸新幹線車内誌「西Navi北陸」)への掲載によるPR	
○学校給食での野菜の利用を促進するため、収穫時期の拡大や、広域集出荷貯蔵施設を整備			
・新たな品種の導入や集出荷貯蔵施設の整備支援	小さな農業チャレンジ応援事業	・個人営農者や女性グループ等が行う、新規作物の導入など新たなチャレンジに対して支援(45組織) ・少量多品目野菜の栽培(実証圃)を8か所で実施	園芸振興課
○調理現場と生産現場をつなぐコーディネーターによる学校給食への利用促進			
・地場産学校給食地域コーディネーターが中心となり、会議、情報交換、マッチング等により地場産食材使用率の向上を目指す	ふくいの地場産学校給食推進事業	・地域(農林総合事務所)単位で「地場産学校給食地域コーディネーター」を配置し、コーディネーターを中心に地場産食材の利用調整を実施。	流通販売課
(計画記載外) 安全でおいしい学校給食提供のため、学校給食調理従事員に対し、実習や演習、グループワーク等を組み合わせた研修会を開催し、資質を向上	学校給食調理従事員研修会	・学校給食調理従事員研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	保健体育課
○社員食堂等への地場産食材の導入推進			
・社員食堂を有する事業者への加工業務用地場産食材の導入推進	—	・ふくいの食育推進企業登録事業所へ働きかけ	流通販売課
・「ふくい100彩(さい)ごはん」提供店に地場産食材のさらなる利用を働き掛け	—	・提供店等に地場産食材利用拡大を働き掛け	流通販売課 健康政策課
○市民農園やプランター菜園などで県民が野菜を栽培する取組を推進			
・ポットやプランターを用いた野菜栽培キットや栽培カード等を活用して消費者が日常的に野菜栽培に取り組む活動を支援	—	・ふくいの食育推進企業を対象に、農業体験の準備、募集 ・ふくいの食育推進企業に自産自消の情報を提供	流通販売課
○「育てて・食べよう」写真コンクール(仮称)の実施			
・消費者自らが栽培・収穫した農産物等をおいしく食べる写真を募集し、関心を持ち積極的に農業に参加する消費者を増やす。	—	・計画期間(R1～5)内の実施を検討	流通販売課
○地産地消の推進により地域や生産者を応援			
・地域で生産された農林水産物等を購入する消費者を増やし、地域の農林水産業を応援する行動として「地産地消」を推進	エシカル消費促進事業	・環境や社会、地域に配慮した商品に付けられているマーク(地産地消に係るマークとしては「厳選ふくいの味認証マーク」、「福井県特別栽培農産物認証マーク」、「エコファーマーマーク」等が対象)を3種類集めて応募してもらい、マイボトルをプレゼント(応募980件)	県民安全課
	消費者月間啓発強化事業	・令和元年度に作成した「エシカル消費」の紹介パネルを県内3カ所で展示	